

K 吸着剤が降圧剤の効果に及ぼす影響に関する研究

1. 研究の対象

2022.4～2024.3 の期間で、入院中にアムロジピン、ニフェジピン、カルベジロール、ビソプロロールのいずれかを内服しており、その後、K 吸着剤(ポリスチレンスルホン酸カルシウムまたはジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム)が追加された患者。

以下の患者は除外します。

18 歳未満、K 吸着剤を元々併用していた患者、EICU、ICU、HCU、5 山病棟で併用された患者
カテコールアミンまたはバソプレシン、血管拡張薬の経静脈的投与がされていた患者、K 吸着剤と降圧剤を同時刻に服用していない患者

2. 研究目的・方法

K 吸着剤は、他の医薬品との吸着の可能性が報告されており、海外では、他剤との服用間隔を空けることが提唱されております。本邦でも人工腸液を使用した実験系において一部の降圧剤との吸着が報告されていますが、生体内での影響は未だ分かっておりません。今回、K 吸着剤と降圧剤を同時に服用した患者における血圧の変動を観察することで K 吸着剤が降圧剤へ及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者カルテより以下の情報を利用します。

性別・年齢・身長・体重・基礎疾患・K 吸着剤開始時の血清クレアチニン値及び血清 K 値、収縮期血圧及び拡張期血圧・併用薬(降圧効果を有する薬剤及び利尿薬)

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

研究又は他の研究機関への提供の開始予定日

倫理委員会承認後～2028.3.31

外国にある者へ試料・情報を提供する場合の取扱いに関する関連情報について

該当しません

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 薬剤部門 研究責任者 深津祥央

りんくう総合医療センター 薬剤部門 越山晶弘 小林洋平

(2023 年 7 月 4 日)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111（代表）

担当者：薬剤部門 越山晶弘 小林洋平

研究責任者：りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津祥央